B5FK-1281-01

テレビ操作ガイド

「テレビ機能」を詳しく紹介

受信環境の確認

地デジを受信できる環境であるか確認しましたか？
まだ確認していなければ、次のチャートでチェックしてください。

スタート
現在、テレビはケーブルテレビで見ていますか？

見ている →

ケーブルテレビの電波の伝送方式を確認してください。

ケーブルテレビで地上デジタル放送を見る場合は、伝送方式が「**同一周波数パススルー方式**」または「**周波数変換パススルー方式**」である必要があります。
詳しくは、ケーブルテレビ会社にご確認ください。

見ていない ↓

お住まいの住宅の種類は？

アパート、マンションなどの共同住宅 →

現在の環境で地上デジタル放送を受信できるか確認してください。

共同アンテナの種類や向きなどが、地上デジタル放送に対応しているか、大家さん、管理組合、管理会社などにご確認ください。

一戸建て ↓

地上デジタル放送に対応したUHFアンテナの設置工事が必要です。

詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

注：地上デジタル放送が受信できる環境でも、お使いの状況によって、次のような機器が必要になる場合があります。
　ブースター／アッテネーター／分配器／分波器／混合器
詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。

地 上 デ ジ タ ル 放 送 を 見 る た め に は

添付品を確認する	『箱の中身を確認してください』
↓	
リモコンの準備をする	『取扱説明書』
↓	
B-CAS カードを挿入する	『取扱説明書』
↓	
アンテナ線を接続する	『取扱説明書』
↓	
初回設定を行う	「テレビを見るための準備をする」の「STEP3 「AVerTV」の初回設定をする」（→P.8）
↓	
見る	「テレビを見る」（→P.11）

見ることができないときは？
「困ったときのQ&A」の「地上デジタル放送が映らない」（→P. 36）

■お問い合わせ先（地デジ放送について）

総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター（地デジコールセンター）
電話番号：0570-07-0101（IP電話等でつながらない場合は、03-4334-1111）
受付時間：平日…9時から21時　　土日・祝日…9時から18時

（社）デジタル放送推進協会（略称：「**Dpa**／ディーピーエー」）の
ホームページも見てみよう！

http://www.dpa.or.jp/
デジタル放送に関する情報をご覧になれます。
- 地デジとは？
- 自分の住んでいるところに電波がきているのかなぁ
- BS・110度CSデジタル放送について

（2012年11月現在）

このマニュアルの表記について

● 画面例およびイラストについて

表記されている画面およびイラストは一例です。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

● 本文中の記号について

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

重要	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。 必ずお読みください。
Point	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	冊子のマニュアルを表しています。
Web	インターネットで公開している情報を表しています。 参照方法は 『取扱説明書』の表紙の裏面をご覧ください。

● 製品などの呼び方について

このマニュアルでは製品名称などを、次のように略して表記しています。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 8	Windows
Windows Media® Player 12	Windows Media Player
Corel® WinDVD®	WinDVD
Corel® Digital Studio for FUJITSU	Corel Digital Studio
Corel® Direct DiscRecorder	Corel Direct DiscRecorder
AVerTV8	AVerTV

● 操作説明について

- このマニュアルでは、リモコンを使った操作を中心に説明しています。マウスで操作する場合は、操作対象となるボタンや選択肢を直接クリックしてください。また、一部マウスでの操作が必要な項目については、その旨を記載しています。

リモコンでの操作	マウスでの操作
で「確定」を選択し、 決定 を押します	「確定」をクリックします

- このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。
なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

● 商標および著作権について

Corel、Corelのロゴ、WinDVDはCorel Corporationおよびその関連会社の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

お使いになるうえでのご注意

● 大切な録画・録音・編集について

- 大切な録画・録音・編集を行う場合は、事前に試し録画・録音・編集をして、正しくできることをご確認ください。
- 本製品およびディスクを使用中に発生した不具合、もしくは本製品が使用不能になったことにより、録画・録音・編集されなかった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねます。

● ハードディスクについて

ハードディスクは非常に精密な機器です。お使いの状況によっては、部分的な破損が起きたり、最悪の場合はデータの読み書きができなくなったりするおそれもあります。ハードディスクは、録画・録音した内容を恒久的に保存する場所ではなく、一度見るためや、DVDに保存するまでの一時的な保管場所としてお使いください。

● 停電などについて

- 本製品の動作中に停電などが起こると、録画ができなかったり、ハードディスクに保存してある録画番組が損なわれたりすることがあります。大切な録画番組は、DVDに保存されることをお勧めします。
- 録画中やディスクへの書き出し中に停電などが起こると、録画や書き出しに失敗したり、ハードディスクから録画番組の一部、またはすべてが削除されたりする場合があります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを、再生できない場合があります。

● 著作権について

本製品で録画・録音したものを、無断で複製、放送、上映、有線放送、公開演奏、インターネット配信、レンタル（有償・無償を問わず）、販売することは、法律により禁止されています。

1 テレビを見る

本章では、テレビを見る前の準備、注意事項、リモコンの操作方法、番組表の見かたなどについて説明します。

テレビを見るための準備をする

このパソコンでテレビ番組を見るためには、デジタルテレビと同様の準備が必要です。

■ 地上デジタル放送を見るための準備

STEP1 お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリア内か確認する

社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2012年11月現在）で、お住まいの地域が地上デジタル放送のエリア内であるか確認することができます。

STEP2 **B-CAS**カードをセットし、アンテナケーブルを接続する

『取扱説明書』の「取り扱い」—「テレビ」をご覧になり、B-CASカードのセットとアンテナケーブルの接続を行ってください。

B-CASカードについて

- このマニュアルでは、「B-CASカード」と「miniB-CASカード」を総称して、「B-CASカード」と呼んでいます。
- デジタル放送の放送信号は暗号化されており、受信機で暗号を解除する必要があります。B-CASカードには、この暗号を解除するためのICチップが入っています。
- B-CASカードについての詳細は、カードが貼り付けられていた台紙をご覧ください。
- B-CASカードは、お客様と（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（略称：B-CAS）との直接契約に基づき使用するものです。B-CASカード使用許諾契約約款に従って管理してください。
- パソコンの修理時は、B-CASカードを取り外し、お客様の責任で保管してください。
- B-CASカードの紛失・盗難時や、破損したり汚れたりした場合は、B-CASカスタマーセンターまでお問い合わせください。

（株）ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ（B-CAS）カスタマーセンター
電話番号：0570-000-250［IP電話の場合 045-680-2868］
受付時間：10：00〜20：00

STEP3 「AVerTV」の初回設定をする

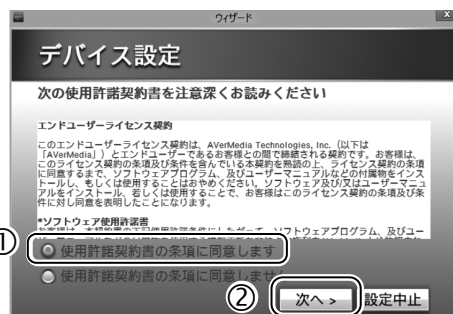
このパソコンでテレビを見るためには、「AVerTV」を使います。
ここではテレビを見るための初期設定を行います。

1 Windowsが起動していない場合は、リモコンの ⏻ を押します。

Windowsが起動します。

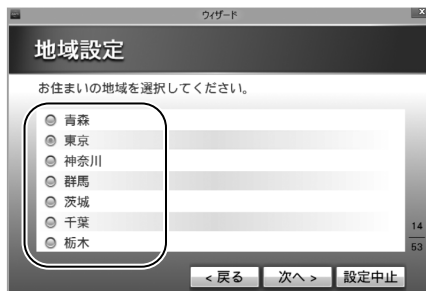
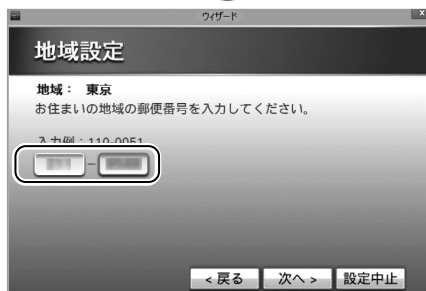
2 テレビアプリ を押します。

マウスを使って起動する場合は、スタート画面で「AVerTV8」をクリックします。

3 使用許諾契約書の内容を確認します。

① ‹⌃⌄› で「使用許諾契約書の条項に同意します」の ◯ を選択し、決定 を押します。

② ‹⌃⌄› で「次へ」を選択し、決定 を押します。

4 次のような画面が表示されたら、「次へ」が選択されていることを確認し、決定 を押します。

5 ‹⌃⌄›でお住まいの地域を選択し、決定を押します。

6 リモコンの数字ボタンでお住まいの地域の郵便番号を入力し、決定を押します。

チャンネルの検出が始まります。しばらくお待ちください。

スキャンが完了したら、‹⌃⌄›で「完了」を選択し、決定 を押します。テレビの視聴画面が表示されます。

これで初回設定は完了です。

Point

- チャンネルが正常に検出できない場合は、「困ったときのQ&A」の「地上デジタル放送が映らない」(→P.36)をご覧ください。

テレビを見るときの注意

ここでは、「AVerTV」をお使いになるときに注意していただきたいことを説明します。

■ 電波の受信状態について

- 画像および音声の品質は、アンテナの電波受信状況により大きく左右されます。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が弱い場合や、室内アンテナをご利用の場合などは、受信状態が悪く、画質に影響が出ることがあります。この場合はご購入の販売店へ相談されるか、市販のアンテナブースターをご購入ください。アンテナブースターをお使いになる場合は、アンテナブースターのマニュアルをご覧ください。
- 本製品をお使いになる地域の電波状態が強すぎる場合は、受信レベルが飽和し、画質に影響が出ることがあります。この場合は、ご購入の販売店へ相談されるか、市販のアッテネーターをご購入ください。アッテネーターをお使いになる場合は、アッテネーターのマニュアルをご覧ください。
- 電波の受信状態については、「困ったときのQ&A」の「地上デジタル放送が映らない」（→P.36）をご覧ください。

■ テレビの視聴や録画、再生などに関する注意

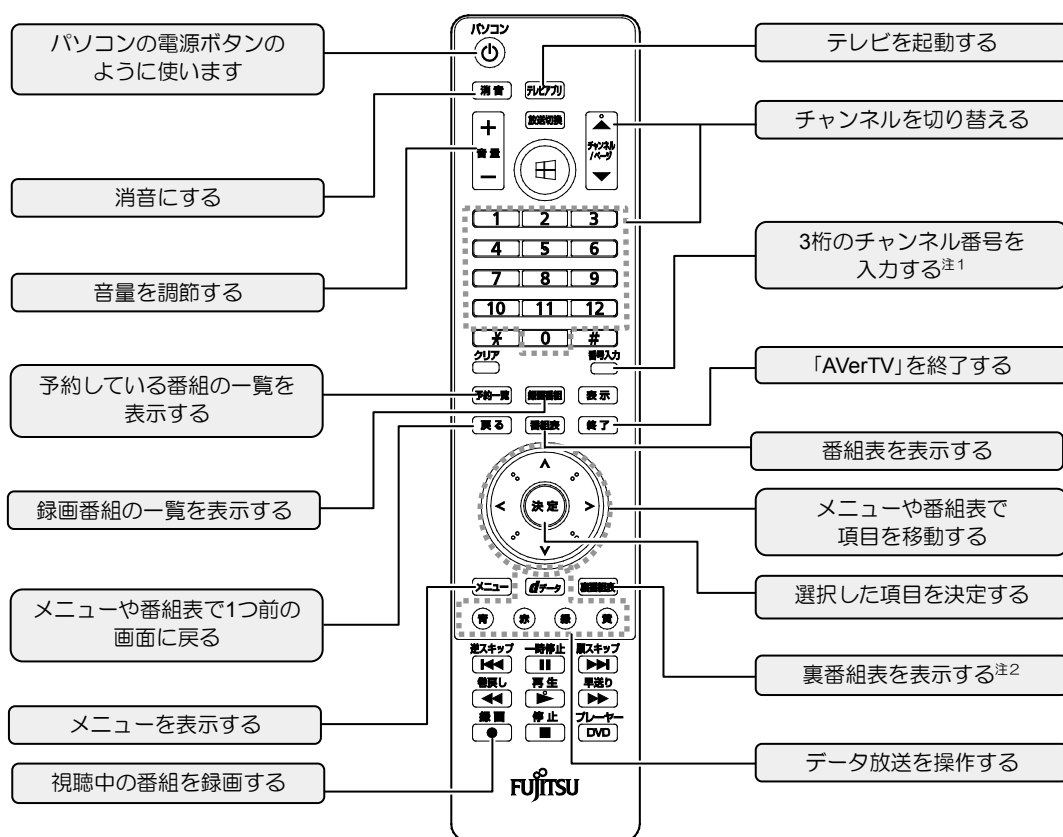
- 「AVerTV」は、他のアプリと同時に使ったり、使用中にスクリーンセーバーを動作させたりしないでください。「AVerTV」をお使いのときに、「Windows Media Player（ウィンドウズメディアプレーヤー）」など他のアプリやスクリーンセーバーが動作していると、音声が途切れる、映像が正しく表示されないなど、正常に動作しない場合があります。
- テレビの視聴をしているときに、使用状況やシーンによっては、映像がスムーズに再生されない場合があります。
- デジタル放送の5.1チャンネル音声は、2チャンネルのステレオ音声に変換（ダウンミックス）されます。
- 電源プランの設定は「バランス」または「高パフォーマンス」でお使いください。それ以外の設定の場合、映像がコマ落ちすることがあります。
  設定は次の手順で行ってください。
  1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
     『Windows 8基本操作クイックシート』
  2. 「コントロールパネル」をクリックします。
  3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックします。
  4. 設定を「バランス」または「高パフォーマンス」にします。

■ その他の注意

- 「AVerTV」の使用中に、画面の各種設定を変更しないでください。
  また、画面の解像度と発色数は、ご購入時の状態から変更せずにお使いください。ご購入時の設定から変更している場合は、次の手順で設定し直してください。
  ご購入時の設定については、Web『補足情報』の「ディスプレイ」を確認してください。
  1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
     『Windows 8基本操作クイックシート』
  2. 「コントロールパネル」をクリックします。
  3. 「デスクトップのカスタマイズ」▶「ディスプレイ」▶ウィンドウ左の「解像度の調整」をクリックして設定を行ってください。
- 定期的にデフラグを実行してください。ハードディスクへの録画を頻繁に行うと、ハードディスク内のファイルが断片化され、ハードディスクの読み書き速度が低下します。定期的なデフラグの実行をお勧めします。デフラグは次の手順で行ってください。
  1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
     『Windows 8基本操作クイックシート』
  2. 「コントロールパネル」をクリックします。
  3. 「システムとセキュリティ」▶「管理ツール」の順にクリックします。
  4. 「ドライブのデフラグと最適化」をクリックすると、デフラグを実行するウィンドウが表示されます。

テレビを見る

ここでは、テレビの基本的な操作方法について説明します。
テレビの操作には、「リモコンでの操作」と「マウスでの操作」があります。

■ リモコンで操作する

※：放送切換 は使用しません。

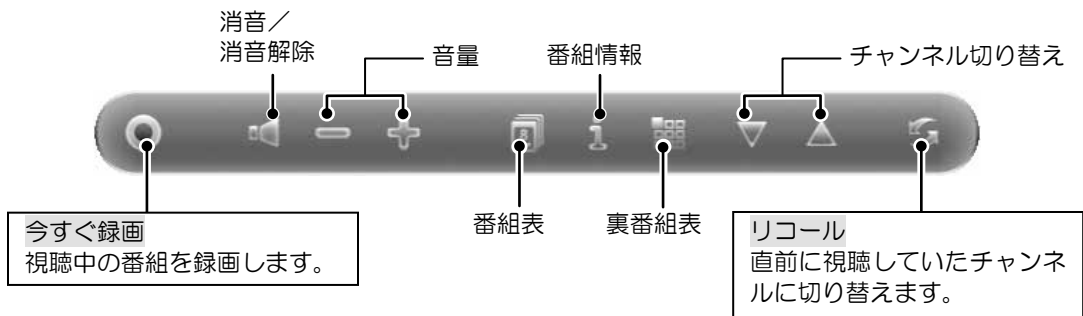
注1：番号入力 を押してから、数字ボタンで3桁のチャンネル番号を入力して、チャンネルを切り替えることができます。

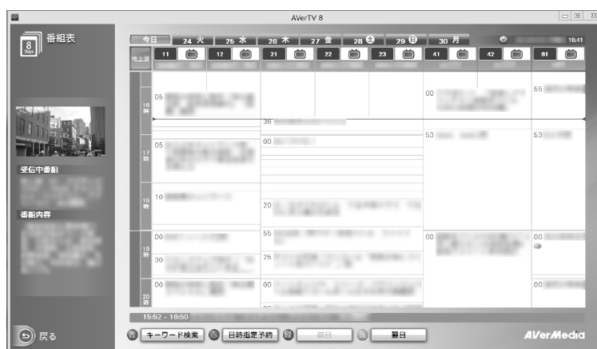
注2：放送中の番組一覧を表示します（テレビの視聴画面でのみ有効）。

■ マウスで操作する

Point

- 画面上の何もないところで右クリックすると、画面表示や音声・字幕を設定する項目が表示されます。

コントロールバー

■ 番組表を使う

このパソコンには、放送波からテレビ番組の情報を取得し、表示するための電子番組表が用意されています。

リモコンで操作する

リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
番組表を表示する	番組表
番組表を閉じる	戻る
放送局や時間帯を変更する	＜＾＞
選択している番組の詳細情報を見る	決定

重要 番組表を使うときの注意

- 番組データは自動的に受信されますが、受信に時間がかかる場合があります。また、受信中は自動的にスリープや休止状態にはなりません。
- 番組表には、取得できたチャンネルの番組のみ表示されます。

Point キーワード検索

- 青（「キーワード検索」）を押すと、キーワード検索画面が表示されます。

  キーワードを入力し をクリックすると、番組が検索できます（番組名、番組情報、ジャンルにキーワードが含まれる番組が一覧で表示されます）。
- 空白（半角／全角）で区切って複数のキーワードを入力すると、すべてのキーワードが含まれる番組が一覧で表示されます。
- キーワードの入力は、キーボードで行ってください。

データ放送を見る

「データ放送」とは、番組の情報や、地域の天気予報や交通情報、最新のニュースなどの情報を見ることのできるサービスです。番組によっては、インターネットなどを介した双方向サービスを利用してクイズに答えるなど、番組に参加することができます。

■ データ放送の見かた

1 **テレビ画面が表示されている状態で、 dデータ を押します。**

2 **〈〉、決定、青、赤、緑、黄 などのボタンで操作します。**

3 **もう一度 dデータ を押すと、データ放送が終了します。**

重要 データ放送に関連する保存データについて

- ご購入時の状態に戻す（リカバリ）作業を実施すると、データ放送に関連する保存データ（番組の視聴ポイントなど）も初期化されます。
  リカバリ後もデータ放送に関連する保存データを利用したい場合は、「バックアップナビ」でパソコンの状態を復元してください。なお、利用が可能なデータ放送に関連する保存データは、「バックアップナビ」でパソコンの状態をバックアップした時点までのものとなります。
  「バックアップナビ」について、詳しくは、『取扱説明書』の「バックアップ」－「バックアップナビ」をご覧ください。

Point

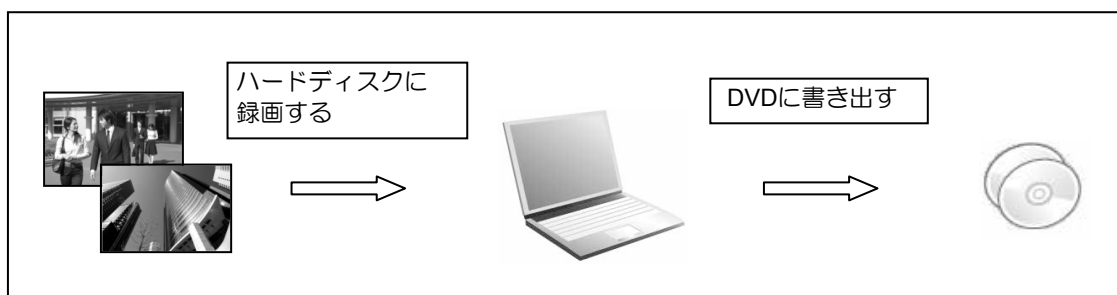
- 録画中にデータ放送を見ることはできません。

2 テレビ番組を録画する

本章では、テレビ番組の録画や録画した番組の再生、ディスクに書き出す方法について説明します。

録画の前に

このパソコンでは、次のことができます。

- テレビ番組をハードディスクに録画する
- ハードディスクに録画した番組をDVDに書き出す

録画の設定を変更する

ここでは、録画の設定について説明します。
録画番組を保存するハードディスクドライブや画質を変える場合は、あらかじめ設定を変更しておく必要があります。

1 テレビを起動した状態で [メニュー] を押します。

2 ‹ ^ › で「設定」を選択し、(決定) を押します。

3 で「録画設定」を選択し、 を押します。

設定項目	説明
録画保存先	録画番組を保存するハードディスクドライブを設定します。 設定を変更したら、 で「適用」を選択し、 を押します。
今すぐ録画の 画質設定	視聴中の番組を録画するときの画質を設定します。 （初期値：DR（最高画質）） （最高画質）（高画質）（長時間）（超長時間1）（超長時間2） DR　HX　HS　HL　HE きれい　長時間録画

■ 外付けハードディスクを使う

このパソコンでは、USB接続した外付けハードディスクに、テレビ番組を直接録画することができます。また、外付けハードディスクにある録画番組は、そのままディスクに書き出すこともできます。
外付けハードディスクに録画するときは、「設定」▶「録画設定」▶「録画保存先」で外付けハードディスクのドライブを選択してください。

外付けハードディスクに録画するときの注意

- NTFS形式に初期化（フォーマット）されたUSB2.0以上対応のハードディスクのみ、使用することができます。
- 外付けハードディスクはパソコン本体に直接接続してください。USBハブ経由で接続した場合、録画やディスクへの書き出しに失敗するなどの問題が発生することがあります。
- 録画を開始する前に、外付けハードディスクが使用可能な状態になっているか確認してください。指定したドライブが作業開始時に使用可能な状態になっていないと、録画やディスクへの書き出しができません。

■ 録画するときの画質による仕様の違い

ハードディスクに録画するときの仕様

ハードディスクに録画するときの画質	DR	HX	HS注1	HL注1	HE注1
ビットレート	地上デジタルHD　：約17Mbps 地上デジタルSD　：約6～8Mbps 注2	約 9Mbps	約 4.5Mbps	約 2.4Mbps	約 1.6Mbps
画質	ハイビジョン（HD）注3				
データ形式	MPEG2-TS（音声：AAC）	H.264（音声：AAC）			
番組情報のデータ	保存				
字幕放送のデータ	保存				
副音声 注4	保存				
5.1チャンネル音声	保存				

DVDに書き出すときの仕様

ハードディスクに録画したときの画質	DR	HX	HS	HL注5	HE注5

書き出し時に4つの録画モードから選択可能注6

DVDに書き出すときの画質	XP	SP	LP	LP
ビットレート	約8Mbps	約4Mbps	約2Mbps	約2Mbps
画質	標準（SD）			
1枚のディスクに記録可能な時間 注7	約1時間	約2時間	約4時間	約4時間
1枚のディスクに記録可能な番組数	99番組			
フォーマット	DVD-VR			
番組情報のデータ	削除*			
字幕放送のデータ	削除*			
副音声 注4	マルチステレオ方式の放送は音声1（第1言語）のみ保存*			
5.1チャンネル音声	2チャンネルに変換*			

＊ ：ディスクに書き出したときに、ハードディスク内の録画番組から変換や削除される項目

注1：スポーツや音楽番組など、動きや明るさの変化が激しい番組をHS、HL、HEで録画すると、ブロック状のノイズが出たり、映像がスムーズに再生されないなどの現象が出ることがあります。
このような番組を録画する場合は、DRまたはHXで録画することをお勧めします。

注2：放送局によって異なります。

注3：放送が標準（SD）放送の場合は標準（SD）になります。

注4：音声多重方式やマルチステレオ方式で放送される2ヶ国語放送などで、主音声以外に放送される音声です。

注5：HL、HEで録画した番組を書き出す場合は、どの書き出し画質を選んでもLPになります。

注6：「自動」を選択すると、録画画質に応じた画質で書き出します。画質は次のように変換されます。

ハードディスクに録画したときの画質	DVDに書き出すときの画質
DR、HXで録画した場合	XP
HSで録画した場合	SP
HL、HEで録画した場合	LP

注7：DVD-R/DVD-RW/DVD-RAMの片面ディスクの録画時間です。

■ 録画番組を保存するための容量の目安

1時間分の録画番組を保存するための容量の目安です。

画質	地上デジタル放送		録画番組の保存先
	ハイビジョン（HD）放送	標準（SD）放送	
DR	約7650MB （約7.6GB）	約3600MB （約3.6GB）	ハードディスク
HX	約4050MB（約4.1GB）[注1]		
HS	約2025MB（約2.0GB）		
HL	約1080MB（約1.1GB）		
HE	約720MB（約0.7GB）		
XP	約4200MB（約4.2GB）		DVD
SP	約2200MB（約2.2GB）		
LP	約1400MB（約1.4GB）		

容量は、1MB =1000^2 bytes、1GB =1000^3 bytes換算値

注1：標準（SD）放送をHXで録画したとき、DRよりデータ容量が大きくなる場合があります。

■ ディスクに書き出すときの記録時間の目安

1枚のディスクに記録できる時間の目安です。

書き出し時の画質	DVD-R/DVD-RW/ DVD-RAM [注1] （約4.7GB）	DVD-R DL （約8.5GB）
XP	約1時間	約2時間
SP	約2時間	約3.5時間
LP	約4時間	約7.5時間

注1：DVD-RAMの片面ディスクです。

テレビ番組を録画するときの注意

ここでは、テレビを録画するときに注意していただきたいことを説明します。

■ 録画全般について

録画するときはこんなことに気を付けてください

- 録画中は、パソコンの電源ボタンを押したり、シャットダウンや再起動をしたり、スリープや休止状態にしたりしないでください。録画に失敗したり、故障の原因となったりする場合があります。
- 電源ボタンを4秒以上押し続けてパソコンを強制終了すると、録画予約の時間になってもパソコンが自動起動せず、予約録画に失敗することがあります。強制終了した場合は再度電源を入れ、パソコンの電源ボタンを押してWindowsを終了してください。
- 録画中は、ウイルススキャンを行わないでください。
  テレビの録画中にウイルススキャンが開始されると、録画が正常に行われないことがあります。予約録画を行う場合は、同じ時間帯に自動スキャン機能が動作しないようご注意ください。
- 周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
  テレビ番組の録画中、または予約録画の待機中のときは、周辺機器の取り付け／取り外しや、メモリーカードの抜き差しなどをしないでください。録画に失敗する原因となります。
- 録画中は、「WinDVD」を起動しないでください。
  録画中に動画再生アプリを起動すると、録画番組にコマ落ちが発生するなどの影響があります。
- 録画中はチャンネルを変更できません。
- データ放送を録画することはできません。

外付けハードディスクをお使いになる場合

外付けハードディスクの使用については、「録画の設定を変更する」（→P.15）をご覧ください。

■ 予約録画について

予約録画をする前に確認してください

- 予約録画をするときは、コンピューターがスリープになるまでの時間をご購入時の設定から変更しないでください。変更すると、録画に失敗することがあります。
  ご購入時の設定から変更している場合は、次の手順で設定を戻してください。
  1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
     『Windows 8基本操作クイックシート』
  2. 「コントロールパネル」をクリックします。
  3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にクリックします。
  4. 「バランス（推奨）」の ◌ をクリックして ◉ にしてから、ウィンドウ左の「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をクリックして表示される画面で、「このプランの既定の設定を復元」をクリックします。
- 2つ以上の予約録画が連続している場合、前に予約しているテレビ番組の、最後の約30秒間が録画されません。
- 予約録画が設定されていると、クイックスタート機能を使用時にパソコンの電源が入った状態で電源ボタンを押しても、スリープまたは休止状態になります。
  クイックスタート機能については、『取扱説明書』の「取り扱い」—「Windowsをスタートする／終了する」ご覧ください。
- B-CASカードがパソコン本体にセットされていることを確認してください。
  B-CASカードがセットされていないと、予約録画できません。
- アンテナケーブルを取り外したままにしないでください。
  予約録画が失敗する原因となります。予約録画を設定した後に、アンテナケーブルを取り外してパソコン本体をお使いになった場合、予約録画開始前にはパソコン本体にアンテナケーブルを接続してください。
- 番組が延長された場合や、番組時間が変更された場合は、ハードディスクの空き容量が足りなくなり、予約録画が中断されることがあります。

Windowsのサインインパスワードを設定している場合の注意

次の場合にパスワードを入力する設定になっていると、予約録画が実行されません。

- ・スリープや休止状態から復帰するとき
- ・スクリーンセーバーを解除するとき

これらの状態から予約録画をするときは、次のように設定してください。

1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。

   『Windows 8基本操作クイックシート』

2. 「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」をクリックし、ウィンドウ左の「スリープ解除時のパスワード保護」の順にクリックします。
4. 「電源ボタンの定義とパスワード保護の有効化」ウィンドウで「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックします。
5. 「パスワードを必要としない」の ◯ をクリックして ◉ にします。
6. 「変更の保存」をクリックします。
7. ✕ をクリックします。
8. デスクトップの何もないところを右クリックし、表示されるメニューから、「個人設定」をクリックします。
9. 「個人設定」ウィンドウで「スクリーンセーバー」をクリックします。
10. 「再開時にログオン画面に戻る」の ☑ をクリックして ☐ にします。
11. 「OK」をクリックします。

Windowsを終了した状態や電源を切った状態から予約録画をするときの注意

- このパソコンでは録画予約をしておけば、Windowsを終了したりパソコンの電源を切ったりしても、自動的に起動して録画を開始することができます（「PowerUtility-スケジュール機能」）。
- ご購入時の状態では、Windowsをスタートするときにパスワードを入力する設定にしておくと、Windowsを終了した状態や、電源を切った状態からの予約録画が実行されません。予約録画をする場合は、「自動サインイン設定」にもそのパスワードを設定しておいてください。また、Windowsのサインインパスワードを変更した場合にも、「自動サインイン設定」のパスワード変更が必要です。
  「自動サインイン設定」について詳しくは、『取扱説明書』の「便利な機能のご紹介」−「自動サインイン設定」をご覧ください。
- 録画予約時刻の15分前には、Windowsを終了するかパソコンの電源を切ってください。
  予約録画が始まる時間の直前に電源を切ったり、スリープや休止状態になったりすると、設定どおりに正しく動作しない場合があります。
- Windowsを終了した状態や、電源を切った状態からの予約録画には「PowerUtility-スケジュール機能」を使用します。
  「PowerUtility-スケジュール機能」を削除すると、録画予約時刻に自動的にWindowsをスタートしたり、録画終了後に電源を自動的に切ったりすることができなくなりますのでご注意ください。
- Windowsを終了した状態、またはパソコンの電源を切った状態から予約録画が開始されると、「自動サインイン設定」で設定したユーザーアカウントに自動でサインインされます。
  このとき、パソコンに複数のユーザーアカウントが登録されていても、パスワードの入力画面は表示されませんのでご注意ください。
- 「PowerUtility-スケジュール機能」はBIOSセットアップの「時刻による電源オン」を使用しています。「PowerUtility-スケジュール機能」を起動した後、録画のスケジュールが設定されていない場合には、Windowsの起動時にBIOSセットアップの設定が自動的に変更され、「使用しない」に設定されます。

■ 録画したデジタル放送番組に関する注意

- ハードディスクにある録画番組は、他のパソコンなどにコピーまたは移動して再生することはできません。録画したパソコンでのみ再生可能です。
- 液晶ディスプレイへの再生表示は、ハイビジョン表示にならない場合があります。
  ハイビジョン映像は解像度変換せずに録画されますが、映像出力時に液晶ディスプレイの解像度に変換される場合があります。
- ハードディスクにある録画番組は、編集や加工ができません。
  「Corel Direct DiscRecorder」を使用すると、ディスクに書き出した録画番組に対してチャプターの追加などの編集ができます。詳しくは、「Corel Digital Studio」のマニュアルをご覧ください。

テレビ番組を録画する

ここでは、見ている番組の録画方法と、予約して録画をする方法について説明します。

見ている番組を録画する

現在見ているテレビ番組を録画したいときは、次の操作ですぐに録画を開始できます。

1 テレビ番組を視聴中に 【録画●】 を押します。

録画が開始されます。

2 録画を停止するときは、録画している番組を表示中に 【停止■】 を押します。

Point マウス操作

- マウスで操作するときは、コントロールバー上の ◉ ／ ▣ をクリックして録画を開始・終了します。

録画予約する

番組表から録画予約ができます。

1 【番組表】 を押します。

2 〈◇〉 で予約したい番組を選択し、 (決定) を押します。

番組の検索方法など、番組表の使い方については、「番組表を使う」（→P.13）をご覧ください。

3 「番組内容」画面で、(赤)（「録画予約」）を押します。

4 「録画予約」画面が表示されたら、‹⌃⌄› で「予約する」を選択し、(決定) を押します。

必要に応じて、「録画モード」（画質）や「シリーズ録画」の設定を変更することができます。
シリーズ録画：シリーズの番組をまとめて録画することができます。

5 「録画予約を設定しました。」と表示されたら、(決定) を押します。

予約が完了すると、番組表上に が表示されます。

録画モードを変更する

1. (予約一覧) を押します。
2. ‹⌃⌄› で変更したい番組を選択し、(決定) を押します。
3. (緑)（「画質変更」）を押し、画質を変更してから ‹⌃⌄› で「確認」を選択し、(決定) を押します。

録画予約を取り消す

1. (予約一覧) を押します。
2. ‹⌃⌄› で取り消したい番組を選択し、(決定) を押します。
3. (黄)（「取り消し」）押します。
4. ‹⌃⌄› で「OK」を選択し、(決定) を押します。

Point 日時指定予約する

- チャンネルと時間を指定して予約をすることで、番組の一部分のみ録画したり、複数の番組の録画予約を1つの予約として録画したりできます。

1. 番組表 を押します。
2. 赤（「日時指定予約」）を押します。
3. 録画の条件を指定します。

4. 設定が完了したら、‹◇› で「予約する」を選択し 決定 を2回押します。

Point パソコンの時刻合わせ

- パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。
時刻を合わせるときは、次の手順で設定を行ってください。

1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。
『Windows 8基本操作クイックシート』
2. 「コントロールパネル」をクリックします。
3. 「時計、言語、および地域」▶「日付と時刻の設定」▶「日付と時刻の変更」の順にクリックし、設定を行ってください。

録画した番組を再生する

ここでは、ハードディスクに録画したテレビ番組を再生する操作について説明します。

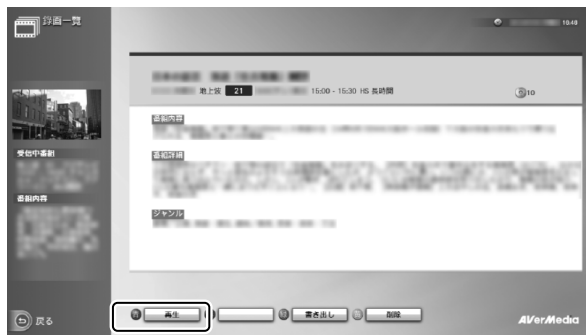
■ 録画番組を再生するときの注意

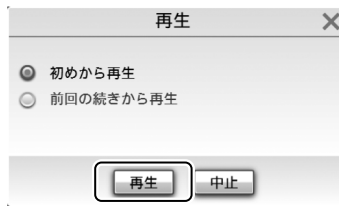
- 著作権保護のため、録画番組を再生するには、録画を行ったパソコンとテレビチューナーが必要です。そのため、テレビチューナーの故障などにより、交換が必要になった場合、録画番組が再生できなくなることがあります。
  万一録画番組が再生できなくなった場合、その内容の補償およびそれに付随する損害に対して、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ネットワークを経由し、他の機器で再生することはできません。

■ 録画番組を再生する

1 **録画番組 を押します。**

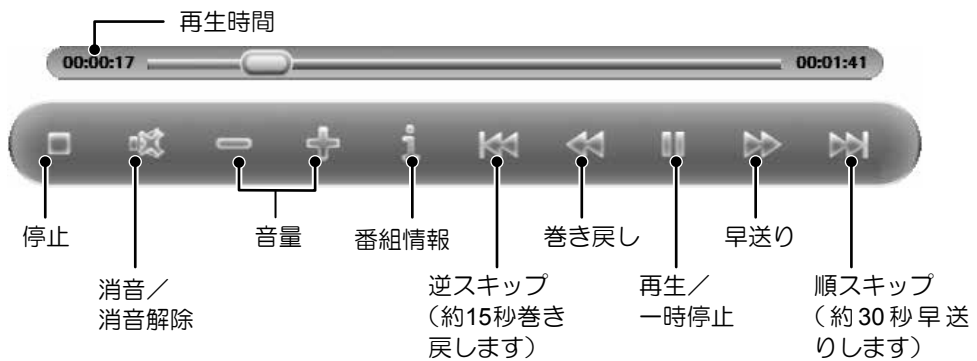
2 **‹ ˆ › で見たい番組を選択し、 決定 を押します。**

3 **番組の詳細画面が表示されたら、 青 (「再生」)を押します。**

番組の再生が始まります。

4 次の画面が表示された場合は、‹◇› で「再生」を選択し、(決定) を押します。

番組の再生が始まります。

5 番組の再生を終える場合は、[停止 ■] を押します。

再生した番組の詳細画面に戻ります。

■ 再生中の操作

録画番組の再生中は、リモコンを使って次の操作ができます。

したい操作	リモコンで押すボタン
再生を停止する	停止 ■
一時停止する	一時停止 ❚❚
早送りする	早送り ▶▶
巻き戻す	巻戻し ◀◀
約30秒早送りする	順スキップ ▶▶❘
約15秒巻き戻す	逆スキップ ❘◀◀

録画した番組をディスクに書き出す

このパソコンではハードディスクに録画した番組をDVDに書き出すことができます。

■ 対応ディスク

DVD※　DVD-R　DVD-R DL　DVD-RW　DVD-RAM

※ CPRM（Content Protection for Recordable Media）対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに書き出すことができます。

- CPRM対応のDVD-R、DVD-R DL、DVD-RW、DVD-RAMに書き出した録画番組は、「WinDVD」またはCPRM対応のDVDに対応したプレーヤーで再生できます。
  なお、CPRM対応のDVDに対応したDVDプレーヤーであっても再生できない場合がありますが、このパソコンの故障ではありません。

このパソコンの推奨ディスクについては、『取扱説明書』の「取り扱い」—「CD/DVDドライブ」をご覧ください。
1枚のディスクに、何時間分の番組を記録できるかについては、「録画の設定を変更する」の「ディスクに書き出すときの記録時間の目安」（→P.18）をご覧ください。

■ 書き出しの特徴

ダビングと移動（ムーブ）

ディスクに書き出す方法は、ダビングと移動（ムーブ）の2つがあります。

ダビング　：ハードディスクに**録画番組を残したまま、**ディスクに録画番組をコピー（バックアップ）する機能

ムーブ　　：録画番組をディスクに書き出した後、ハードディスクから**録画番組を削除**する機能

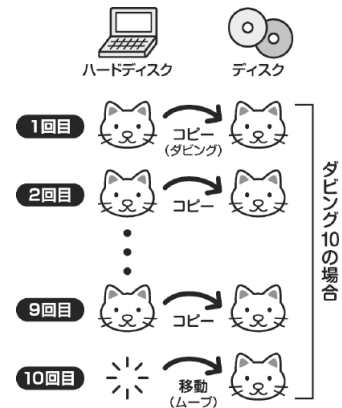
コピー制御信号について

デジタル放送の番組には、著作権保護を目的とした、コピー回数を制御するための信号が含まれています。
ディスクへのダビングができる回数は、このコピー制御信号の種類によって異なります。
この信号には、「コピーネバー」「コピーフリー」「コピーワンス」「ダビング10」の4種類があります。

コピーネバー：　ハードディスクへの録画、およびディスクへの書き出しができない信号です。

コピーフリー：　ハードディスクに録画した後、その録画番組をディスクに何回でも書き出すことができる信号です。

コピーワンス：　ハードディスクに録画を行った時点で、1回コピーを行ったとみなされる信号です。そのため、DVDなどのディスクに録画番組を書き出したい場合は、移動（ムーブ）することになります。移動（ムーブ）を行うと、ハードディスク内の録画番組は自動的に削除されます。

ダビング10：　ハードディスクに録画番組を残したまま、最大9回までデータをディスクにコピーすることができます。10回目にデータをディスクに書き出すと、データがハードディスクから移動（ムーブ）して削除されます。

■ ディスクに書き出すときの注意

- 録画番組をダビング中や移動（ムーブ）中に、停電などによる電源断など不慮の事故や強制シャットダウンによってパソコン本体が停止したり、記録しているディスクの傷や汚れによって書き込みが中断したりした場合、ダビングや移動（ムーブ）を実行していた録画番組はハードディスクから一部、またはすべてが削除されることがあります。このとき、録画番組の一部、またはすべてを再生できなくなることがありますのでご注意ください。
- 移動（ムーブ）の途中でキャンセルした場合、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、それ以降のデータはハードディスクから削除されます。「ダビング10」信号が含まれた録画番組をダビングの途中でキャンセルした場合は、その時点までのデータがディスクに書き込まれ、ダビング可能回数が1回減ります。
- 大切な録画番組をディスクに書き出す前に、テスト用の録画番組をディスクに書き出し、お手持ちの機器で再生可能かご確認ください。
- 録画番組を書き出すディスクにデータが入っている場合、ディスクのフォーマットを行うとすべてのデータが削除されます。データを削除したくない場合は、フォーマットをせずに追記するか、新しいディスクを用意してください。
- DVD-RAMに録画番組のデータを追記する場合、ディスクに録画番組以外のデータが入っていると、追記ができません。ディスクに入っているデータが録画番組だけの場合には追記が可能です。
- ディスクへの書き出し中は、番組の視聴、録画予約、番組表の更新が行えませんので、ご注意ください。
- ディスクへの書き出し中に他のアプリを起動または操作すると、動作が遅くなる場合があります。
- 状況によってディスクへの書き出しは、録画番組の再生時間よりも長くなる場合があります。

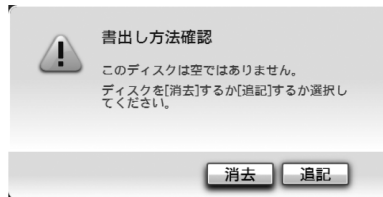
『取扱説明書』の「取り扱い」−「CD/DVDドライブ」にも、ディスクに書き込みをするときに注意していただきたいことを説明しています。あわせてご覧ください。

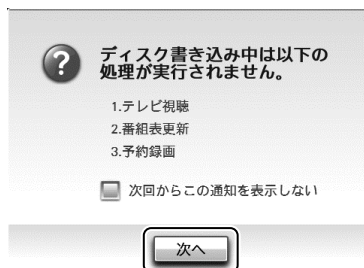
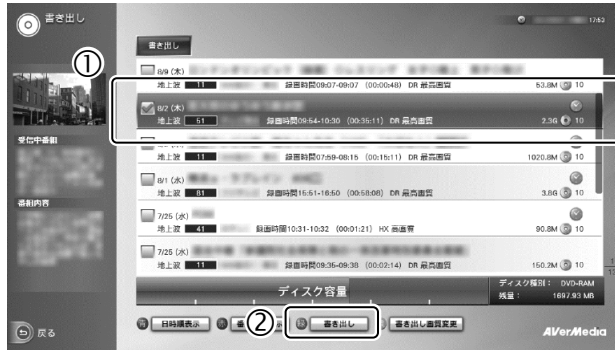
■ ディスクに書き出す

1 **ディスクをパソコン本体にセットします。**

2 録画番組 **を押します。**

3 緑 **（「書き出し」）を押します。**

4 **すでにディスクにデータが入っていて追記が可能な場合は、メッセージが表示されます。**

データを消去してから書き出したい場合は、‹ ⌃⌄ › で「消去」を選択し、決定 を押します。
データを追記したい場合は、‹ ⌃⌄ › で「追記」を選択し、決定 を押します。

5 **「ディスク書き込み中は…」というメッセージが表示されたら、「次へ」が選択されていることを確認し、** 決定 **を押します。**

6 ディスクに書き出したい番組を選択します。

① ‹ ˆ ˇ › でディスクに書き出したい番組を選択し、(決定) を押して □ を ☑ にします。

複数の番組を選択することができます。選択を解除する場合は、もう一度 (決定) を押します。

② (緑)（「書き出し」）を押します。

Point

- 録画した日時の順にディスクに書き出されます。
- 書き出し画質を変更したい場合は、(黄)（「書き出し画質変更」）を押して画質を選択します。
  選択できる画質については、「録画するときの画質による仕様の違い」（→P.17）をご覧ください。
- 複数の番組を選択して書き出しをする場合、書き出し画質を個別に指定することはできません。
- 録画画質より高い画質を指定して書き出しても、再生画質は良くなりません。
- 「ファイルのサイズはディスク空き容量を超えました。」と表示された場合は、「メッセージが表示される」（→P.39）をご覧ください。

7 ‹ ˆ ˇ › で「書き出し開始」を選択し、(決定) を押します。

ディスクへの書き込みが開始されます。

8 「書き込み処理が完了しました」というメッセージが表示されたら、「終了」が選択されていることを確認し、(決定) を押します。

これでディスクへの書き込みが完了しました。

ディスクに書き出した録画番組を再生する

ここでは、ディスクに書き出した録画番組を再生する操作について説明します。ディスクに書き出した録画番組を再生するには、添付のアプリ「WinDVD」が必要です。
「WinDVD」については、「WinDVD」のヘルプをご覧ください。

■ ディスクを再生するときの注意

- お使いになるディスクのタイトルによっては、動画や音声をスムーズに再生できない場合があります。
- ディスクを再生する前に、他のアプリを終了させてください。また、再生中は他のアプリの起動や他の操作は行わないでください。パソコンのCPUやハードディスクに負荷がかかるため、ディスクが正しく再生されない原因となります。
- ディスクの再生が始まるまでに、時間がかかる場合があります。
- 「WinDVD」を常に最新の状態に更新してお使いください。
  「WinDVD」を更新するには、「アップデートナビ」を実行してください。「アップデートナビ」の実行方法については、『取扱説明書』の「セットアップする」—「パソコンを最新の状態にする」をご覧ください。
- 「AVerTV」でテレビ番組を録画している間は、ディスクを再生しないでください。ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。
- ディスクの再生は、録画予約が設定されていない時間帯に行ってください。
  ディスクの再生中にテレビ番組の予約録画が開始されると、ディスクの再生やテレビ番組の録画が正しく動作しない場合があります。

■ ディスクに書き出した録画番組の再生

1 **ディスクをパソコン本体にセットします。**

2 **「WinDVD」でディスクを再生します。**

録画番組を削除する

ここでは、ハードディスク内の録画番組を削除する操作について説明します。
録画番組を削除すると、元に戻すことはできません。録画番組を保存したい場合は、あらかじめディスクに書き出してください。

1 **［録画番組］を押します。**

録画番組の一覧が表示されます。

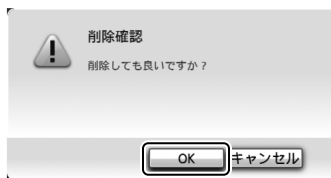
---

2 **〈◇〉で削除したい録画番組を選択し、（決定）を押します。**

---

3 **（黄）（「削除」）を押します。**

---

4 **〈◇〉で「OK」を選択し、（決定）を押します。**

録画番組が削除されます。

---

3 困ったときのQ&A

本章では、画面表示や音声などでトラブルが発生した場合の原因と対処法について説明します。

画面がおかしい

ここでは、画面の表示や映像の状態に関するトラブルをまとめています。

番組によって映像の周りに黒い部分がある

アナログ標準放送用カメラやアナログハイビジョン放送用カメラで作成された番組の場合、映像の周囲に黒い部分が表示されることがあります。
これはパソコンの故障ではありませんので、そのままお使いください。

画面が表示されない

電源ランプが消灯している場合、次のような原因が考えられます。ご確認ください。

原因	対処
電源ケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	電源ケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「初めて電源を入れる」―「初めて電源を入れる」をご覧ください。
電源が入っていない	電源を入れてください。詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」―「Windowsをスタートする／終了する」をご覧ください。
「おやすみディスプレイ」機能を使用している	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。画面オフボタンを押した状態になっている場合は、もう一度画面オフボタンを押すと画面が表示されます。
「電源オプション」の電源プランに従ってディスプレイの電源が切れている	キーボードのキーを押して、画面が表示されるか確認してください。

DVDが再生できない、画像が乱れる

原因	対処
ディスクが裏返しになっている	ディスクの表裏を確認してください。
ディスクが汚れている	ディスクのデータ面を柔らかい布できれいに拭いてください。
ディスクに傷がある、またはディスクが反っている	傷ついたディスクや反ったディスクは使用できません。他のディスクをお使いください。
ファイナライズされていない	書き込みに使う機器やアプリの種類によって、互換性に違いがあります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクは、このパソコンでは再生できない場合があります。 VRフォーマットで記録されたDVDディスクが再生できない場合は、ディスクの「ファイナライズ」を行うことで、再生できるようになる場合があります。ファイナライズの方法については、書き込みに使った機器やアプリのマニュアルなどをご確認ください。

地上デジタル放送が映らない

原因	対処
アンテナケーブルがパソコン本体に正しく接続されていない	アンテナケーブルを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」—「テレビ」をご覧ください。
お住まいの地域が地上デジタル放送の放送エリアではない	お住まいの地域に地上デジタル放送が開局していない場合は、地上デジタル放送が映りません。地上デジタル放送の放送エリアを確認するには、社団法人デジタル放送推進協会のホームページ（http://www.dpa.or.jp/）（2012年11月現在）をご覧ください。 なお、サービスエリア内であっても、地形やビルなどによって電波がさえぎられる場合や電波が弱い場合などの理由により、視聴できないことがあります。
地上デジタル放送が受信できるUHFアンテナを使用していない	地上デジタル放送対応のUHFアンテナを接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」—「テレビ」をご覧ください。
B-CASカードが正しくセットされていない	B-CASカードが正しくセットされていないと、地上デジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」—「テレビ」をご覧ください。
ケーブルテレビの伝送方式が対応していない	ケーブルテレビで地上デジタル放送をご利用になる場合、ケーブルテレビ会社によりデータの伝送方式が異なります。このパソコンが対応している伝送方式は、同一周波数パススルー方式と周波数変換パススルー方式です。伝送方式をご契約のケーブルテレビ会社にご確認ください。
チャンネル設定が地域と合っていない	お住まいの地域と一致した設定になっていることを確認してください。
アンテナの角度が適切でない	アンテナの角度によっては、受信レベルが低く、映りが悪くなることがあります。「AVerTV」では、デジタル放送の受信レベルをテストし、アンテナの角度が最適かどうかを確認することができます。 1. メニュー を押して、‹◇› で「設定」を選択し 決定 を押します。 2. ‹◇› で「電波強度表示」を選択し を押します。 3.「物理チャンネル」の ▼ ▲ をクリックして放送局を選択すると、受信レベルが表示されます。 受信レベルが60前後（またはそれ以上）になっていれば、アンテナの角度が最適の状態で、映像を正しく表示できます。なお、ここで表示される受信レベルの数値は、具体的な信号の強度を示すものではありません。 アンテナの角度を変えても受信レベルが低い場合は、市販のアッテネーターを使用することで状態が改善されることがあります。

地上デジタル放送の映像が乱れる、コマ落ちする

原因	対処
UHFアンテナの向きが違う	デジタル放送の送信塔の方向を確認し、アンテナの向きを変えてください。詳しくは、アンテナ工事業者やお近くの電気店にお問い合わせください。
アンテナケーブル、またはアンテナ変換ケーブルの接続がゆるい	アンテナケーブルまたはアンテナ変換ケーブルが、しっかり接続されているか確認してください。また、アンテナケーブルはノイズの入りにくいネジ式F型コネクタのものをお使いください。
分配器を使用していることで電波が弱くなっている	分配器を使用している場合は、分配器を外して壁のアンテナコネクタと直結してみてください。
分波器を使用していない	BS・110度CSデジタル放送とアンテナ線が混合している環境の場合は、分波器をお使いください。
他のアプリが動作している	次の例のように、他のアプリの動作状況に影響される場合があります。 ・セキュリティ対策アプリがウイルススキャンを行っているとき ・他のアプリの起動・終了時

データ放送が表示されない

原因	対処
番組を録画している	「AVerTV」では、録画中にデータ放送を見ることはできません。

音が聞こえない／変な音が聞こえる

ここでは、音声の状態に関するトラブルをまとめています。

スピーカーから音が聞こえない

原因	対処
音量が小さすぎる	リモコンの音量ボタンで音量を調節してください。
パソコン本体にヘッドホンが接続されている	パソコン本体にヘッドホンが接続されていると、スピーカーから音が出ません。ヘッドホンを抜いてください。

雑音が聞こえる

原因	対処
パソコンの近くで電波を発生する装置（携帯電話、PHSなど）を使用している	故障ではありません。携帯電話、PHSなどをパソコンから離してお使いになるか、使用をおやめください。

操作ができない

ここでは、リモコン、予約録画、双方向サービスに関するトラブルをまとめています。

リモコンで操作ができない

原因	対処
リモコンの電池が消耗している	リモコンの電池を交換してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」—「リモコン」をご覧ください。
リモコンの電池の使用推奨期限が過ぎている	電池には使用推奨期限が表記されています。使用推奨期限を確認してください。使用推奨期限が過ぎていると、正常に動作しないことがあります。
リモコンの電池が正しい向きに入っていない	電池の極性（＋－）を正しい向きにして入れてください。電池が正しい向きに入っていないと、リモコンは動作しません。 詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」—「リモコン」をご覧ください。
電源ケーブル、またはACアダプタが正しく接続されていない	電源ケーブル、またはACアダプタを正しく接続してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「初めて電源を入れる」—「初めて電源を入れる」をご覧ください。
リモコン受光部に蛍光灯などの強い照射光が当たっている	パソコンの向き、設置場所を変えてください。
リモコンの信号がリモコン受光部に届いていない	リモコン受光部の使用可能範囲内で、リモコンを受光部に正しく向けて操作してください。詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」—「リモコン」をご覧ください。
リモコンの信号をパソコンが正しく受信していない	リモコンがリモコン受光部に正しく向いていなかったり、リモコンとパソコンの間に障害物などがあったりすると、リモコンは正しく動作しません。 詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」—「リモコン」に記載されている注意事項をご覧ください。
リモコンマネージャーが起動していない	リモコンをお使いになる場合は、「リモコンマネージャー」が起動している必要があります。デスクトップ画面右下の通知領域にある （隠れているインジケーターを表示します）をクリックし、 が表示されているか確認してください。 表示されていない場合は、次の手順で「リモコンマネージャー」を起動してください。 1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。 『Windows 8基本操作クイックシート』 2. 「Fujitsu-リモコンマネージャー」の「リモコンマネージャー」をクリックします。 デスクトップ画面右下の通知領域に が表示されたことを確認してください。
リモコンマネージャーがインストールされていない	リカバリなどを行った後に、リモコンマネージャーがインストールされていないと、リモコンを使用できません。 詳しくは、Web『補足情報』の「ソフトウェア」をご覧ください。

予約録画に失敗する

原因	対処
時刻設定が合っていない	「AVerTV」で予約録画するときは、パソコンの時刻が合っていないと、正しく予約録画できません。パソコンの時刻を正しく設定してください。 詳しくは、「テレビ番組を録画する」の「パソコンの時刻合わせ」（→P.25）をご覧ください。
スリープ・休止状態からの復帰ができなかった	「スリープ解除タイマーの許可」を「無効」にしていると、スリープ・休止状態から予約録画されません。次の手順で設定を確認してください。 1. スタート画面の何もないところで右クリックし、画面右下の「すべてのアプリ」をクリックします。 『Windows 8基本操作クイックシート』 2. 「コントロールパネル」をクリックします。 3. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」▶「プラン設定の変更」▶「詳細な電源設定の変更」▶「スリープ」の順にクリックし、「スリープ解除タイマーの許可」の中の項目が「有効」になっているか確認してください。

メッセージが表示される

ここでは、メッセージが表示された場合の対処方法をまとめています。

メッセージが表示される

メッセージ	対処
ICカード未装着 ICカードを正しく装着してください	B-CASカードが正しくセットされていないと、デジタル放送を見ることができません。B-CASカードを正しくセットしてください。詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」―「テレビ」をご覧ください。
E202:信号が受信できません アンテナ線を確認してください	天候が不安定でアンテナレベルが低下しているとき、またはアンテナが正しく接続されていない場合に表示されます。天候に問題がない場合は、アンテナの接続を確認してください。 詳しくは、『取扱説明書』の「取り扱い」―「テレビ」をご覧ください。
ファイルのサイズはディスク空き容量を超えました。	（対処1）データが入っているディスクに追記しようとしていた場合は、空き容量の大きい新しいディスクに変更してください。
	（対処2）DVD-Rを使用している場合は、新しいDVD-R DLに変更してください。
	（対処3）書き出し時に複数の番組を指定している場合は、指定している番組の数を減らしてください。
	（対処4）書き出し時に高い画質を選択している場合は、低い画質を選択してください。

索引

B

あ

か

さ

た

は

ま

ら